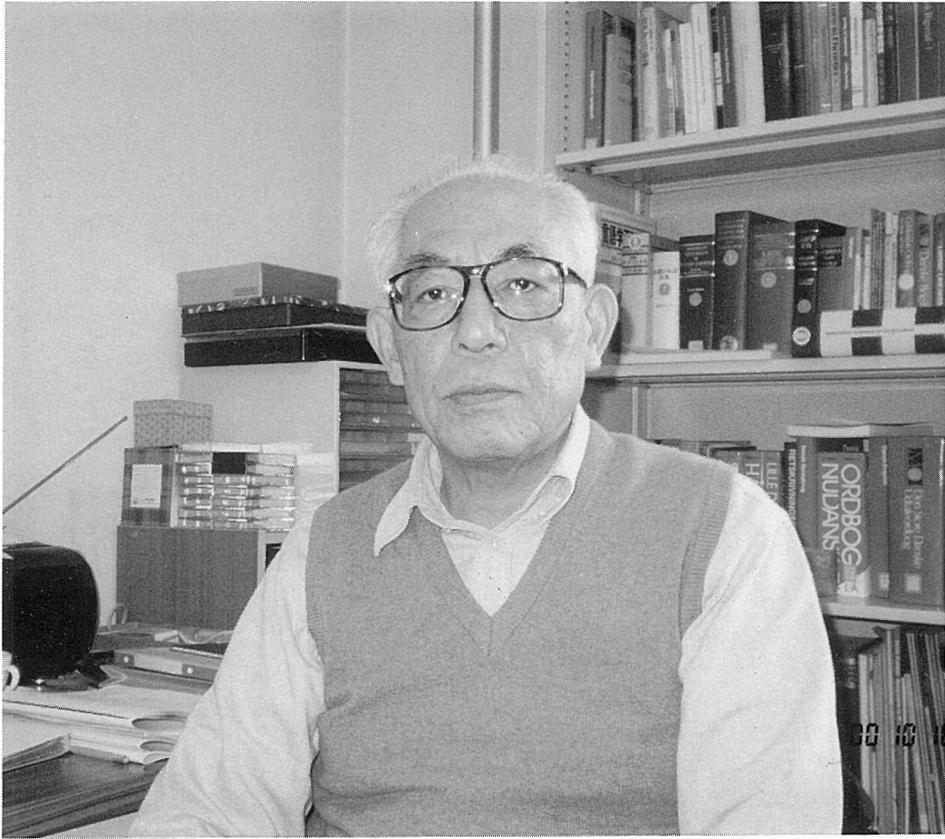


Title	間瀬英夫教授の略歴・業績表
Author(s)	
Citation	IDUN. 2001, 14
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/95682">https://hdl.handle.net/11094/95682</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University



間瀬英夫教授（2000年10月）

## 間瀬 英夫 教授

### 略 歴

- 1935年 7月 24日 神奈川県小田原市に生まれる
- 1954年 3月 23日 自由学園高等部卒業
- 1954年 4月 15日 自由学園最高学部（大学部）（英語専攻）入学
- 1958年 3月 21日 同上 卒業
- 1958年 4月 1日 自由学園研究助手
- 1959年 4月 1日 自由学園中等部・高等部助手（英語担当）
- 1961年 4月 1日 自由学園最高学部（大学部）助手（英語担当）
- 1962年 4月 1日 アメリカ言語学会会員
- 1964年 9月 1日 コペンハーゲン大学言語学・音声学科留学（1966年7月31日まで）
- 1966年 4月 1日 日本音声学会会員
- 1966年 8月 1日 自由学園最高学部専任講師（1967年6月30日まで）
- 1967年 7月 1日 コペンハーゲン大学言語学・音声学科再度留学
- 1967年 9月 1日 コペンハーゲン大学東洋語学科日本語非常勤講師（1973年3月31日まで）
- 1968年 10月 1日 コペンハーゲン大学言語学・音声学科専任講師（1973年3月31日まで）
- 1969年 1月 27日 コペンハーゲン大学言語学・音声学科卒業
- 1973年 2月 11日 コペンハーゲン大学言語学・音声学科修士論文合格
- 1973年 4月 1日 大阪外国語大学講師，デンマーク語学科
- 1974年 4月 1日 同志社大学文学部英文科非常勤講師（1975年3月31日まで）
- 1975年 1月 1日 大阪外国語大学助教授，デンマーク語学科
- 1975年 4月 1日 日本音声学会評議員（1979年3月31日まで）
- 1975年 4月 1日 日本言語学会会員（1997年3月31日まで）
- 1980年 1月 1日 大阪外国語大学教授，デンマーク語学科
- 1997年 4月 1日 大阪外国語大学大学院言語社会研究科担当
- 2001年 3月 31日 大阪外国語大学停年退官
- 2001年 4月 1日 大阪外国語大学名誉教授

## 業 績 表

### 著書，編書：

1. 北川梯二・赤木英哉・間瀬英夫 共著『学習英語事典』，向上社（東京），昭和 36 年 11 月 1 日（1961），343pp. [分担] pp. 1-180 & pp. 323-333.
2. 間瀬英夫 編『デンマーク語会話練習帳』，大学書林（東京），昭和 54 年 7 月 25 日（1979），vii+132pp.
3. 間瀬英夫・菅原邦城 編『デンマーク語基礎 1 5 0 0 語』，大学書林（東京），昭和 56 年 3 月 25 日（1981），xi+130pp. [分担] 全単語発音表記 & pp. vi-xi.
4. 岡田令子・菅原邦城・間瀬英夫 共著『現代デンマーク語入門』，大学書林（東京），昭和 59 年 11 月 15 日（1984），xvi+241pp. [分担] 第 I 章「音声篇」（pp. 1-48），第 III 章「統語篇」（pp.151-193），「単語索引」（pp. 231-241）.
5. アネ＝メテ・イブセン・間瀬英夫 共著『これでいいのかな ― デンマーク語中級会話 ―』，大学書林（東京），昭和 60 年 9 月 30 日（1985），xii+175pp. [分担] 日本語の部分および補注.

### 翻訳書：

1. F. J. ビレスコウ・ヤンセン & 牧野不二雄 監修『デンマーク文学作品集』，東海大学出版会（東京），1976 年 9 月 20 日，xi+607pp. [分担]（間瀬英夫・木村由利子共訳）マーチン・A・ハンセン「パラダイスりんご」（pp. 528-547）；（間瀬英夫・尾崎和彦共訳）セーレン・ケエルケゴール「人生行路の諸段階より」（pp. 222-241）；「日本語版への序」（pp. iv-v）.
2. エーリ・フィシャ＝ヨーアンセン 著，林 栄一 監訳・間瀬英夫 副監訳『音韻論総覧』，大修館書店（東京），1978 年 9 月 10 日，x+486pp. [分担] 第 8 章「ロマン・ヤコブソンの弁別素性理論」（pp.155-187），第 12 章「特定

の学派以外からの貢献」(pp. 377-416), 「事項索引」(pp. 468-486).

論文：

1. Mase, Hideo: "Acoustic cues for the perception of accent in Japanese when the accented vowel is devoiced", *ARIPUC* (=Annual Report of the Institute of Phonetics, University of Copenhagen), Vol. 3, 1969, pp. 143-176.
2. Mase, Hideo: "Measurements of the length of some Japanese vowels with special reference to their devoicing", *ARIPUC* Vol. 4, 1970, pp. 89-110.
3. Mase, Hideo: "Syllable and accent in Japanese", *ARIPUC* Vol. 5, 1971, pp. 123-152.
4. Mase, Hideo & Rischel, Jørgen: "A study of consonant quantity in West Greenlandic", *ARIPUC* Vol. 5, 1971, pp. 175-247.
5. Mase, Hideo: *Fonetiske cues for trykaccent-opfattelsen*, marts, 1971. Institutet for fonetik, Københavns Universitet. 19 pp.
6. Schumacher, W. W. & Mase, Hideo: "Der Gegensatz *r:dr* der Fidschi-Sprache", *ORBIS* Vol. XXI-1, 1972, pp. 57-60.
7. Mase, Hideo: "A study of the role of syllable and mora for the tonal manifestation in West Greenlandic", *ARIPUC* Vol. 7, 1973, pp. 1-98.
8. 間瀬英夫: 「デンマーク語の閉鎖音」, *IDUN* I, 1973, pp. 3-23. 大阪外国語大学デンマーク語学科研究室. (1973.9.1)
9. 間瀬英夫: 「デンマーク語の /r/」, 『大阪外国語大学学報』, 第 30 号, 1974, pp. 61-71. (1974.2.28)
10. 間瀬英夫: 「デンマーク語の母音ー量と質の関係についてー」, *IDUN* II, 1974, pp. 3-36. (1974.10.1)
11. 間瀬英夫: 「デンマーク語の長・短母音ー母音音長は後続子音の数から予測

- できるか」, *IDUN* III, 1976, pp. 3-34. (1976.12.1)
12. 間瀬英夫: 「子音の調音点と調音力の関係ーデンマーク語の場合と一般音韻的問題」, 『大阪外国語大学学報』, 第42号, 1978, pp. 109-120. (1978.3.15)
  13. 間瀬英夫: 「デンマーク語母音の音長変化」, *IDUN* IV, 1978, pp. 3-18. (1978.12.1)
  14. 間瀬英夫・福居誠二: 「一般音声学テープ教材の作成」大阪外国語大学『視聴覚資料の外国語授業への有効な取り入れ』, 1980, pp. 139-141. (1980.8.1)
  15. 間瀬英夫: 「デンマーク語の子音(その一)ー閉鎖音音素ー」, *IDUN* V, 1980, pp. 3-33. (1980.12.1)
  16. 間瀬英夫: 「Stød と tone の対応について(その一)」, 『中・北欧比較文化研究(2)』(大阪外国語大学), 1981. pp. 1-10. (1981.3.31).
  17. 間瀬英夫: 「デンマーク語の子音(その二)ー/g/の音節末実現形と他音素との中和ー」, *IDUN* VI, 1982, pp. 59-84. (1982.12.1)
  18. 間瀬英夫: 「Kierkegaard という姓の発音と音声転写」, 『ケエルケゴールーデンマークの思想と言語ー』, 東方出版(大阪), 1982, pp. 23-36. (1982.11.11)
  19. 間瀬英夫: 「デンマーク語思考・情意動詞と主節の挿入的用法」, *IDUN* VII, デンマーク・スウェーデン語学科研究室, 1986, pp. 97-119. (1986.12.1)
  20. 間瀬英夫: 「デンマーク語の否定辞 IKKE の叙法的用法」, *IDUN* VIII, 1988, pp. 33-54. (1988.7.31)
  21. 間瀬英夫: 「Peter Molbæk Hansen 著『デンマーク語発音辞典』について」, *IDUN* IX, 1990, pp. 93-126. (1990.11.1)
  22. 間瀬英夫: 「現代デンマーク語における鼻子音の前の短母音」, *IDUN* X, 1992, pp. 139-158. (1992.3.31)

23. 間瀬英夫・新谷俊裕:「*Lær dansk* 音声表記付ワードリスト — P.M. Hansen の『発音辞典』を基礎とし, Dania 改良式 (DnMs) 発音表記法による —」, 『大阪外国語大学論集』, 第 9 号, 1993, pp. 77-139. [分担]: pp. 81-93, 138-139. (1993.9.30)
24. 間瀬英夫:「デンマーク語の母音」, *IDUN* 11 号, デンマーク語・スウェーデン語研究室, 1994, pp. 1-42. (1994.12.25)
25. 間瀬英夫:「O. Engstrand によるスウェーデン語の IPA 表記について」, 『視聴覚外国語教育研究』, 第 18 号, 大阪外国語大学, 1995, pp. 13-30. (1995.3.31)
26. 間瀬英夫:「デンマーク語の述部不定詞句の論理的な主語」, *IDUN* 12 号, 1996, pp. 83-104. (1996.12.1)
27. 間瀬英夫・菅原邦城・新谷俊裕・堀井祐介共編:「現代デンマーク語基本語彙集 (1)」『大阪外国語大学論集』, 第 17 号, 1997, pp. 97-126. (1997.9.30)
28. 間瀬英夫・菅原邦城・新谷俊裕・堀井祐介共編:「現代デンマーク語基本語彙集 (2)」『大阪外国語大学論集』, 第 19 号, 1998, pp. 81-95. (1998.9.30)
29. 間瀬英夫・菅原邦城・新谷俊裕・堀井祐介共編:「現代デンマーク語基本語彙集 (3)」『大阪外国語大学論集』, 第 20 号, 1999, pp. 89-99. (1999.3.30)
30. 間瀬英夫・菅原邦城・新谷俊裕・堀井祐介共編:「現代デンマーク語基本語彙集 (4)」『大阪外国語大学論集』, 第 21 号, 1999, pp. 39-70. (1999.9.30)
31. 間瀬英夫・菅原邦城・新谷俊裕・堀井祐介共編:「現代デンマーク語基本語彙集 (5)」『大阪外国語大学論集』, 第 22 号, 2000, pp. 113-140. (2000.3.30)
32. 間瀬英夫「デンマーク語・スウェーデン語鼻子音 [m,n,ŋ] の音韻解釈」, 本誌 14 号, 2000, pp. 1-18. (2001.3.29)

翻訳：

1. 間瀬英夫: 「デンマーク語文法用語集 一. Dansk Sprognævn が薦める用語一」, *IDUN* 13 号, デンマーク語・スウェーデン語研究室, 1998, pp. 1-54. (1998.12.1)

書評：

1. Mase, Hideo: “Anmeldelse af Morris Halle: *Phonology in Generative Grammar*, 1962”, juni, 1968. Institutet for fonetik, Københavns Universitet. 11pp.

その他：

1. 「女性の社会進出にみることばの保守性」, 『翻訳の世界』(「世界のことばこぼれ話」デンマーク語), 1980 年 8 月号, p. 9 (1981.8.1)
2. 「デンマークのクロスステッチ」, 『北欧』(世界の国シリーズ), 講談社(東京), 1983 年 7 月 22 日, pp. 170-174.
3. 「デンマークの国民的手工芸クロスステッチ」, 百瀬宏・村井誠人監修 『北欧』(読んで旅する 世界の歴史と文化), 新潮社(東京), 1996 年 5 月 20 日, pp. 162-164.